高田川新聞

2019年10月28日
発行者
高田川部屋後援会事務局
〒135-0024
東京都江東区清澄2-15-7
www.takadagawa.com

大相撲十一月場所
令和元年11月10日より
15日間
於　福岡国際センター

高田川部屋
十一月場所　福岡道場
福岡県福岡市早良区小笠木678-1
オイスカ西日本研修センター

高田川部屋では、15歳から22歳までの力士を目指す若者を随時募集しております。
※新弟子募集に関しまして、また、各お問い合わせ・ご案内（四人マス席、千秋楽祝賀会、後援会など）は、
行司　式守伊之助まで
電話　090-3215-6524
（ショートメールでお願いいたします）

めざせ！全員勝ち越し

上位の力ついた竜電

令和元年の九月場所は、両横綱が相次いで途中休場、大関・高安も全休。そんな中、御嶽海と大関復帰のかかる貴景勝の、東西関脇が共に十二勝し、優勝決定戦の末、御嶽海が二度目の賜杯を手にした。高田川部屋では、竜電、輝があと一歩、二歩勝ち越しに届かなかったが、幕下の白鷹山と湘南乃海が五勝して、関取を狙える位置に番付を戻した。また、入門二年以内の新弟子たちの成長が顕著な場所となった。

竜電は、初日の千代大龍戦で盤石な相撲を見せ、好調な滑り出しを見せたが、四日目から四連敗して前半戦を二勝五敗とした。中日から流れを引き寄せ、今度は四連勝。特に、九月場所を牽引したと言っても過言ではない隠岐の海、御嶽海に勝利して場内を沸かせ、再び白星を先行させる。しかし、終盤の上位戦で二大関、一関脇に敗れ、負け越しが決定。前半の四連敗が響く結果となった。再び三役に戻るためには、三役以上との対戦をいかにしのぐか、前頭上位との戦いでどれだけ星を稼げるかが課題となる。いずれにせよ、押し負けない力や技術力は備わってきている。あとは、立ち合いからの攻め方次第。動きの速さで相手を翻弄するスピードスター竜電の誕生を待ち望んでいる。

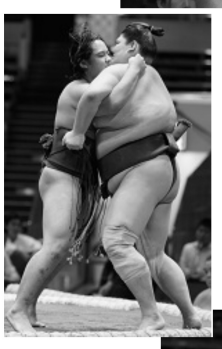
幕内に踏みとどまった輝

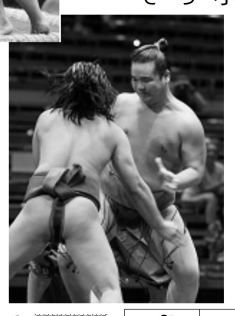
輝は、幕内に入ってから連続勝ち越しがない。一場所勝ち越すと三から四場所の負け越し。ここ一年は、ずっと前頭二桁の番付。しかし、番付運がよく、二十一場所連続で幕内に留まっている。秋場所は中盤から失速し、千秋楽なんとか東龍戦に勝って六勝で幕内残留を決めた。公傷制度のなくなった現在、幕内力士であり続けること自体、本来はすごいことと言えるが、輝の目標はそんなところにはないはずだ。九月末から行われていた世界陸上。100メートル×4リレーで日本は銅メダル。かつて、日本人は瞬発力で劣るトラック競技、特に短距離走でのメダルは難しいとされてきたが、2008年の北京オリンピックで初の銀メダルをきっかけに、今大会も金メダルが狙えるとまで言われた。また、現在、日本で開催中のラグビーワールドカップも、日本は予選リーグを全勝してトップ通過。9回目にして初の決勝進出を決めた。体格差などの不利な面も、知恵や経験、練習方法など努力で補えることが実証された実例と言ってもいい。輝は、入門時の、「目標は横綱」と誓った気持ちを今一度、強く思い出してほしい。稽古量だけでなく、稽古の内容、食事、メンタル面などに至るまであらゆる「質」を徹底的に問い直し、気持ちを奮い立たせて、まずは前頭一桁の番付、そして、二年以上更新していない自己最高位更新を目指してほしい。

同い年で同期の照強に負けなし四連勝中の輝（上）

幕下から新弟子まで

怪我による休場で十両から陥落した白鷹山にようやくリズム感のある攻めが戻り、五勝して復帰から初の勝ち越し。残りの二番も本来の調子なら勝てていた勝負。徐々に相撲感も戻ってきているので、九州場所では更に強い白鷹山を期待したい。また、湘南乃海も攻める気持ちが出て五勝。若隆元、若元春といった相撲巧者に敗れ、勢いだけでなく、技を磨いていくのがこれからの課題だろう。いずれにせよ、両名とも関取の座は目の前。怪我から復帰した、元大関・照ノ富士や元幕内の千代の国らも含め、近い番付には実力者がひしめく。しっかりと自分の持ち味を発揮して、思いきった相撲を見せてほしい。小手先の技や勝ちにこだわりすぎると落とし穴が待っている。





序ノ口で初の勝ち越しを決めた松ケ島（右）と真庭山（上）

その他、大野城が惜しくも負け越したが、元十両で体の大きな徳真鵬を寄り切りで破り、力のあるところを見せた。また、恵比寿丸、勝武士の初切コンビも五勝。怪我の影響で序二段に下がっていた暁も勝ち越して三段目復帰。伸び盛りの新弟子では、長谷川が体を活かした相撲を取れるようになって五勝。藍は三連敗から怒涛の四連勝で勝ち越し。序ノ口の松ヶ島、真庭山も揃って最後の一番に勝ち、初の勝ち越しを決めた。肩の手術で出遅れていた大辻は九月場所最後の一番で復帰し、九州場所では最後尾から皆を追いかける。令和元年の締めくくり、九州場所では皆がそれぞれに精一杯、存分に力を発揮してくれることを願う。

幕内	竜電	先場所 7勝8敗	○●○●●●●○	いい立ち合いながら焦ってうまく攻められない取組が何番かあった。受けにまわらず、動きのある攻める相撲で自分の態勢からできるだけ多く勝って勝ち越したい。
〃	輝	先場所 6勝9敗	●○○○○●○●	立ち合いは良くなってきたが、相撲が読まれてついていけてなかった。負けが続くと迷いが出る。気を抜かず、これだと言う自分の強い形を貫いて十番以上勝ちたい。
幕下	湘南乃海	先場所 5勝2敗	○○○●○○●●	五勝できたが最後に自分の甘さが出た。意味ある稽古をし、前向きな相撲で優勝するつもりで臨みたい。
〃	白鷹山	先場所 5勝2敗	●○○○●○○●	怪我後、初の勝ち越しは素直にうれしい。未だ未だ甘い相撲が目立つので、さらに厳しい相撲を取って関取復帰する。
〃	安芸乃山	先場所 2勝5敗	●●●●●○○●	動きが鈍く相手の攻めを受けて番付を下げてしまった。しっかり立ち合いで踏み込み、自分の形で攻めて六番勝ちたい。
三段目	大野城	先場所 3勝4敗	○●●●●●○○	秋場所は最小限の負け越しに留めたが、地元場所では膝を曲げて低い相撲から攻めて勝ち越し以上の活躍をしたい。
〃	恵比寿丸	先場所 5勝2敗	○○●○●○○●	先場所、五番勝てたが勿体ない相撲もあった。今年最後の場所は、幕下、そして年間最多勝も狙う場所にしたい。
〃	大雷童	先場所 2勝5敗	●●●●○○○●	秋場所、攻めが甘く、気持ちだけ焦って結果が出せず。ご当地場所では品ある気持ちを静め、自分の相撲を取りきりたい。
〃	剛力山	先場所 2勝5敗	●●●●●○○○	九月場所では攻める気持ちが足りなかった。九州場所では攻める相撲で勝ち越して気分よく今年を締めくくりたい。
〃	大乗	先場所 2勝5敗	●○●○●●●●	九月場所は前に出る意識が低く勝ったのも引き技。地元場所では全勝を目指し、前に出て自分の相撲を取りきりたい。
〃	暁	先場所 4勝3敗	●○○●●○○○	最後の一番で勝ち越せたのは大きい。引く展開にならないよう自分の相撲を取りきって三段目で勝ち越したい。
〃	須磨ノ海	先場所 2勝5敗	●○●○○●●●	上体が起きるとすぐに叩く悪い癖が出てしまった。かち上げを磨き、全勝するつもりで我慢強く攻めていきたい。
序二段	勝武士	先場所 5勝2敗	○○○○●●○●	一番一番しっかりと相撲が取れた。課題を持ち、自分を見失わず冷静に相撲を取って、まずは番付を戻していきたい。
〃	前乃富士	先場所 4勝3敗	●○○●○●○○	秋場所は勝ち越したが、いなす相撲が多かった。九州場所では正攻法の相撲で勝ち越して一年を締めくくりたい。
〃	長谷川	先場所 5勝2敗	○●○○○○●●	五勝でき、負けを取り返せた。三段目昇進を目標に、投げに頼らず落ち着いてしっかり前に出る相撲で勝ちたい。
〃	天恵	先場所 3勝4敗	●○○●●●○●	九月場所は最高位で緊張もしたが真っ直ぐ当たる相撲が取れた。三段目に上がれるよう初の六勝を目指したい。
〃	前大将	先場所 5勝2敗	○●●○○○○○	秋場所は後半盛り返して五勝できた。勝ちにこだわらず、一つ一つを大事に前に出る相撲を取りたい。
〃	藍	先場所 4勝3敗	●●●○○○○○	先場所は前半、相撲になっていなかった。今場所は最初の一番からしっかりと中へ潜って前に出る相撲を取りたい。
〃	松ヶ島	先場所 4勝3敗	○○●○●●○	初めて勝ち越せて良かった。強く、早い突っ張りを磨き、焦らないしっかりとした相撲で続けて勝ち越したい。
〃	真庭山	先場所 4勝3敗	○○○●●●○	すぐに廻しが取れるようになり初めて勝ち越せた。精神面を強化し、常に挑戦する気持ちで一つでも多く勝ちたい。
〃	櫻	先場所 3勝4敗	○●●●●○○	惜しい負けを無くすよう最後までしっかり攻めきることを課題に、体調管理にも気をつけて絶対勝ち越したい。
序ノ口	大辻	先場所 1勝6休	ややややや○	休場は辛かったが一番でも土俵に立てて素直に嬉しい。九州場所、自分の相撲を取りきって全勝優勝めざしたい。

※表記の番附は正式発表前の予想

立行司　式守伊之助の目

千秋楽、輝は勝利して幕内を死守した。幕下以下、特に下位の好成績にもかかわらず、これまで部屋を牽引してきた輝が後半戦失速して幕内絶対絶命のピンチとあっては、部屋のムードも盛り上がるはずもない。しかし、最後の一番は関取揃って勝って、部屋もパッと明るくなった。入門以来、九場所目の松ヶ島と今年三月入門の真庭山が競い合って共に初の勝ち越し。また、小兵でウエイトリフティング出身の藍が三連敗のあとの怒涛の四連勝で勝ち越し。新弟子たちの成長を目の当たりにした。輝には、本領発揮し、竜電と共に部屋のムードを益々盛り上げてほしいと熱望する。千秋楽祝賀会の日に還暦を迎えた私、伊之助に高田川師匠からサプライズをいただいた。ご臨席賜わった皆様にまで祝っていただいたことに、この場を借りて心から御礼申し上げたい。

高田川親方の喝！

竜電は上位で戦う力は十分についたが、まだ自分の相撲を見失っている。スピード相撲が足りていない。もっと体を鍛え、立ち合いからのスピード、両差し、突き、押しを自分で磨いていかなくてはいけない。

輝は今も自分の相撲がわからずに出口の見えないトンネルにいる。自分に自信を持って稽古していけば自ずと出口が見えてくる。滝に打たれろとまでは言わないがもっと精神を磨け。

白鷹山、湘南乃海は、幕下十五枚目以内に入る。九州では全勝して二人で決定戦をするぐらいの気迫をみせてほしい。新弟子たちはみんないい相撲を取って頑張っている。ぬるま湯に浸かっている中間の兄弟子たちの尻に火をつけるほど追い込んでほしい。切磋琢磨して部屋を盛り上げていってくれることに期待する。

＜ご案内＞
高田川部屋 千秋楽祝賀会
令和元年11月24日(日) 午後6時半 開宴
※ 会場は、高田川部屋　福岡道場（会費制）

お問い合わせ　／　行司　式守伊之助
090-3215-6524　ショートメールでお願いいたします